



遠隔教育紹介・スタートアップ行事に参加しました

10月29日（火）16時過ぎから、遠隔教育紹介・スタートアップ行事に参加をしました。

中山間地域の10校の国公立大学進学希望者等を対象とした遠隔授業が来年度令和2年度4月からスタートします。このプロジェクトに参加する10校が遠隔教育配信システムを通して交流をはかり、また遠隔教育のねらいや配信内容を生徒たちに知らせることを目的として行われました。キー局である教育センターでは、高知県教育長も参加され生徒達に質問をされました。中芸高校でも5名の生徒会を中心としたメンバーが参加し、本校のPRを行いました。残念ながら学校での様子の写真を取り損ねてしまいました。

高知県立中芸高等学校

学校施設（遠隔授業教室）



教育センター他県立学校12校と交流ができるようになりました。

遠隔教室

高知新聞記事

令和元年10月30日

☆☆ 地域 1 2019年(令和元年)10月30日(水曜日) 高 芥川 采芹

中山間県内10高 同時接続 遠隔教育システム 授業見据え交流

中山間地域の小規模高校でテレビ会議システムを導入。県教育センターから10校(室戸、中芸、嶺北、追手前書、北分校、佐川、榑原、窪川、四万十、中村西)をテレビ会議システムで大学受験に関する説明などが行われた。参加校の生徒同士の交流もあり、ふだんもいろいろな学校とつながって交流したい」との声が聞かれた。

小規模高校は配置される教員数が少なく、大学受験に必要な科目全ての授業を行うことが難しい。そこで県教育センターが、各校の生徒が学校の魅力を紹介したり、生徒同士で質問をし合ったりする。説明を受けたほか、各校の生徒が今年9月に本格稼働しており、本年度は補習活用している。(今川彩香)

伊藤博明県教育長が「授業以外の活用案はありませんか」と問いかける。県教育センターで合同練習がしてみたい」と海外ともつながりたい」という声が上がっていた。

清水高1年の岡崎裕太さん(16)は「映像隔授業を受ける予定の1〜2年生計67人が参加。モニターを通して同センターの職員から進学のための準備や大規模な試験の日程について話を聞いた。」

この日は来年から遠隔授業を受ける予定の1〜2年生計67人が参加。モニターを通して同センターの職員から進学のための準備や大規模な試験の日程について話を聞いた。

中山間地域の高校10校の様子を映し出したモニター(高知市の県教育センター)